



DVD解説

【テーマ：人権全般】

題 名	保管	概 要
<p>あの空の向こうに (字幕・副音声)</p>	<p>人権 38分 2013</p>	<p>私たちが普段何気なく使っているケータイやスマホ、インターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。インターネットなどによる人権侵害は、いつ、誰の身に起きても不思議ではない深刻な問題です。誰もが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。</p> <p>このドラマは決してインターネットなどを敵視するものではありません。文明の利器を凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」なのです。本当の意味での心のつながりとはどういうことか改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心を寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割について気づかせてくれます。(2009年制作)</p>
<p>インターネットと人権 加害者にも被害者にも ならないために</p>	<p>商工 22分 2010</p>	<p>いまや生活に欠かせなくなっている便利な道具としてのインターネット。しかしインターネットによる人権侵犯は増加の一途を辿っていて、法整備が追いつかない状況です。インターネットで攻撃されるのは、マイノリティ・在日コリアン・しょうがい者・同和地区の人ばかりではなく、このDVDでは分娩死など、いくつかの事例を挙げてその非道性を描き、そのような人権侵害を心理学者が次のように分析しています。</p> <p>匿名は人間の悪い部分が出てしまうこと。プライベート気分が軽くやれてしまうこと。自分の心の深層の不安を自分より弱いものへの攻撃でまぎらわせる、そうしたささやかな優越感を持つとすることは、劣等感の裏返しであり、社会矛盾を映し出していることなど、現代社会の一断面を映す鏡となっていると指摘しています。解決法として、困難ではあるが自分自身で守る努力をすること、相手を思いやること、当事者に出会って事実関係を確かめることが、偏見を持たなくなることに繋がると示しています。</p>
<p>えっ！これも人権？ ～4コマ劇場より～ (字幕)</p>	<p>人権 30分 2008</p>	<p>日常生活のふとした出来事を例に、人権の大切さへの気づきを促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どものためだから」といって、大人が勝手に判断して物事を決めてしまったり、子どものわがままを見過ごしていませんか？ ・「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか？ ・「外国人」というだけで何か偏見や先入観を持ったりしていませんか？ ・高齢者に「もう年なんだから…」という言い方や扱い方をしたことはありませんか？ ・固定的な性別役割分担でなく、男性も女性も納得できる生き方を選択していますか？ <p>「子どもの巻」「暮らしの巻」「会社の巻」の3部構成で、4コマ漫画と実写で人権問題をわかりやすく提起し、理解を深める内容になっています。</p>
<p>家庭の中の人権 生まれ来る子へ (字幕)</p>	<p>人権 25分 2017</p>	<p>このドラマは「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おなかに赤ちゃんがいます ・イクメンは変ですか ・よかれと思って ・親の介護をするのは誰 ・愛情とは支配すること？ ・生まれ来る子へ <p>家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、気づくこと、そして行動することの大切さを描きます。</p> <div style="text-align: right;">  </div>



DVD解説

【テーマ：人権全般】

題名	保管	概要
家庭の中の人権 カラフル (字幕)	人権 31分 2015	このDVDでは、両親と人生の巣立ちを迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げています。 【収録テーマ】 ・他人の噂 —誰もが知らず知らずのうちに… ・子どもの就職 —名刺に格付け？ ・子どもの結婚 —親の理想と価値観 ・LGBT —“普通”という思いこみ ・多様性を認めるカラフルな社会へ
クリームパン (字幕・副音声)	人権 36分 2011	子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」や「殺すぞ」といった言葉。それは、彼らが「いのち」の大切さに気づいていないことの表れではないでしょうか。 このドラマでは、派遣切りで失業し、自宅のアパートで自暴自棄な生活を送っていた主人公と、そのアパートで起こった子どもへの虐待事件を通して、人によって生かされ、つながっていく「いのち」の尊さと、家庭の果たす役割や地域社会の関わり方について考えます。
コタンの口笛	虎姫 65分 2009	畑中ユタカは、アイヌの血を引く少年で、札幌の近くのコタンという地域に姉と父と三人で暮らしています。父は、酒を飲んで暮らす毎日で、ユタカと姉は、アイヌであることを理由に同級生たちからいじめを受け苦しみます。同じ人間でありながら、アイヌというだけでなぜ傷つけられるのか、二人の姉弟のけなげな成長と、それをとりまく人々の人間愛の物語を、すわらじ劇団のみなさんがお芝居として演じられたものです。
 言葉があるから・・・	人権 31分 2023	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために…。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。
裁判員 ～選ばれ、そして 見えてきたもの～	虎姫 69分 2007	空調システムの会社に勤める営業マンの主人公のもとに、裁判所から、裁判員候補者に選ばれたという内容の手紙が届く。当初は、参加に消極的だった主人公も、徐々に参加してもよいと思うようになっていきます。そして、裁判員に選ばれた主人公たちは、現住建造物等放火事件の裁判をすることになる。 この作品では、裁判員裁判をよりリアルに感じることができる上、選任手続などについて、詳しく描かれているので、裁判員に選ばれるまでの経緯がよく分かる作りとなっています。
裁判員制度 ～もしもあなたが 選ばれたら～	人権 虎姫 西浅井 60分 2006	自分に裁判所の法廷なんて一生縁がないだろうと思っていた…。それは一通の封筒から始まりました。「あなたは裁判員候補に選ばれました」と。靖雄は仕方なく裁判所を訪れると、数十人の裁判員候補生が集合していました。皆、裁判員に選ばれることに消極的です。靖雄も仕事の多忙さを理由に拒否しようと考えていましたが、6人の裁判員の一人に選ばれてしまいました。


DVD解説

【テーマ：人権全般】

題 名	保管	概 要
裁判員プロジェクト はじめます！	虎姫 西浅井 25分 2008	山口六平太は自動車メーカー・大日自動車の総務部総務課所属。社内のトラブルから社長の相談相手まで何でもこなす頼りになる男なのです。平凡・好人物の今西課長、悪口・陰口を得意とする有馬係長、有馬にいじめられっぱなしの村木、有馬の天敵である桃子、京子、真弓の女性課員達。そんな総務課の面々と共に社会の潤滑油として六平太は今日も奮闘します。
小学生のための人権① 思いこみに気づく (字幕・副音声)	人権 14分 2012	この作品は、ホームレスの人や身体にしょうがいのある人の暮らしの様子などを通して、わたしたちが日常生活の中で抱いている様々な思い込みについて考えるとともに、違いを受け入れることの大切さについて学びます。小学生高学年を対象に作られたものですが、大人を対象にした学習会でも十分にご利用いただけます。 
親愛なる、あなたへ (字幕)	人権 湖北 37分 2008	弘務は、仕事一筋で生きてきて、まもなく定年退職を迎えようとしています。妻陽子は、積極的に地域のボランティアをしています。弘務は地域のことにまったく関心がありません。弘務の退職を目前に、陽子が急死。やがて退職を迎えた弘務は、陽子がいなくなった今後の生活を考えて、途方にくれます。都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。近隣同士であっても互いに無関心、無理解でいることにより、様々な人権問題が起きています。このドラマでは、一人の人間の気づきと再生を中心に描いています。一人一人の「気づき」こそが、互いに支えあう力が低下した地域の「再生」につながります。無関心・無理解という冷たい壁をやぶって、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。
新・人権入門	商工 25分 2016	企業の人事担当者から取材した実際の出来事を16のショートドラマとして構成し、わかりやすく解説しています。視聴者が今見たドラマには一体どんな人権問題が含まれているのでしょうか？もしくはないのでしょうか？自分がそのシーンに遭遇したら…？視聴者とドラマ出演者が学び、悩み、考えることができる教材です。
その人権問題 わたしならどうする？ 会社編	商工 45分 2016	様々な人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら、自分はどう行動するのかを考える視聴者参加型の教材です。 <ul style="list-style-type: none">・部長がセクハラ、部下が被害者・部下を注意したらセクハラと言われて・鬱の社員を守るか、関わらないか迷う課長・部下がADHD、チームから外してとの要望が・HIV陽性の部下の人権を守るために
その人権問題 わたしならどうする？ 地域編	商工 36分 2017	人間が人間らしく生きる権利、人権。それが侵害される場面が、私たちの生活の中に存在しています。たとえ人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場合があります。この作品は、さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどう行動するのかを考える、視聴者参加型の人権学習映像集です。 <ol style="list-style-type: none">1.しょうがい者2.ホームレス3.外国人4.性同一性障害5.同和 

DVD解説

【テーマ：人権全般】

題 名	保管	概 要
<div style="text-align: center;"></div> 大切なひと (アニメ・字幕・副音声)	人権 34分 2024	インターネット上の一部の情報、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
探梅 春、遠からじ (アニメ・字幕・副音声)	人権 40分 2011	人権課題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし、「困ったときはお互いさま」。その気持ちが人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。 この物語は、内向的な性格の主人公・石田亜紀が、東京から、夫の故郷である北九州市へ引っ越したことを契機に展開します。 最初は、東京とは違う近所付き合いに戸惑う亜紀。近隣には、福祉協力員の世話好きな女性・照井邦子や、孤立した一人暮らしの男性・波岡康弘などが暮らしています。こういった人々をめぐるできごとから、亜紀はいつしか自分も福祉協力員となり、次第に地域の中に溶け込んでいきます。そして、かたくなな波岡の心へと動きかけていきます。
虹のきずな (アニメ・字幕・副音声)	人権 31分 2012	小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしている大学生のひかりは、いつも独りぼっちでいる男の子、ワン・タオロンと出会う。中国からやってきたタオロンは、下手な日本語を笑われるのが嫌で、同級生になかなか話しかけられずにいたが、そんな態度が誤解を生み、いじめられるようになっていた。 そんなある日、ひかりは絵本を読んで泣いているタオロンに気づく…。このアニメでは、タオロンをいじめる子どもたちの様子や絵本のお話を通して、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当て、様々な問題を自分の問題として考えること、人と人がしっかりとコミュニケーションをとること、自立した考えや行動をとることの大切さを学びます。
日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることではできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。 この作品は「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。
日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることではできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。 この作品は「外国人の人権」「しょうがい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。

DVD解説

【テーマ：人権全般】

題 名	保管	概 要
にんげん図鑑 ～人権問題と 向き合うために～ (字幕)	人権 25分 2020	マイノリティをテーマ・題材に人間に寄り添う映像制作を続ける田中幸夫監督のドキュメンタリー映画とビデオ作品を再構成した作品です。部落差別をはじめ、外国人、認知症、LGBTなど、あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にも子どもにも分かりやすく提示する教材です。
家庭からふりかえる 「話せてよかった」 (字幕)	人権 27分 2020	人がそれぞれに持っている価値観の違いを認めて、相手を大切に思うことは、「人権」の基本的な考え方です。そして「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係性においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。この作品では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。
ヒーロー (字幕・副音声)	人権 34分 2013	近年、家族や地域、職場などのつながりの希薄化によって、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題になっています。こうした「無縁社会」と呼ばれる状況で私たちは何ができるのでしょうか。この作品の主人公である行男は、働き盛りのサラリーマン。これまで地域社会と縁を持たなかった行男が、あることをきっかけに地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。そうした体験の中で、自分自身の家族とも絆を深めていきます。この作品では「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さについて学びます。
ぼくらの裁判員物語 (アニメ)	虎姫 22分 2008	敬慈高校に通う別所翔太。彼は同じクラスの栗原茜に片思い中。告白する機会をうかがう別所。そんなある日、ふとしたきっかけで、別所は栗原が裁判官に憧れ、「裁判員制度」に興味があることを知ります。「裁判員制度」とは、国民のみなさんに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするのかを裁判官と一緒に決めてもらう制度。栗原と親しくなるためのきっかけづくりにと「裁判員制度」について、幼なじみの進藤進とともに調べはじめた別所。図書管理の涼子先生から、『模擬裁判ー裁判員制度はこうなるー』という教材DVDを借り、見てみることに。そしてひょんなことからDVDと一緒にみるようになった別所と栗原。それまで遠かった別所と栗原の距離は近づいていきます。どうなる？別所の恋の行方は？
ほんとの空 (字幕・副音声)	人権 36分 2012	私たちは、自分や家族の生活を守るために、誤解や偏見に気づかず、他者を排除したり、傷つけたりしてしまうことがあります。この物語の主人公・弓枝もそんな一人。いつも空や雲のことを考えていて友だちのいない息子の輝が、原発事故により福島から避難してきた少年・龍太と意気投合し、自宅に招いて夕食をとります。そのお礼にと龍太の母親からもらった福島産の草木染を、最初は喜んでた弓枝でしたが、見えない放射能の恐ろしさから捨ててしまいます。その事実を知った輝が家を飛び出した時、初めて自分の犯した過ちに気づいた弓枝。この事件をきっかけに始まったタイ人夫婦との交流などを通じて、自分の偏見に気づき、お互いを認め合うことによって、人と人とのつながりや絆を深めていく大切さについて学びます。

DVD解説

【テーマ：人権全般】

題 名	保管	概 要
めぐみ ～拉致という、自由を奪う 行為を忘れないでください～ (アニメ)	人権 虎姫 湖北 余呉 西浅井 25分 2007	このDVDは、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。拉致という国家的陰謀に巻き込まれた普通の家族。それから30年…。娘を取り戻したいという強い思いが、人を、国を、世界を動かしていきます。アメリカ人ジャーナリストが描いた、ニュースでは届かない家族の愛の物語です。
桃香の自由帳 (字幕・副音声)	人権 36分 2011	核家族化や都市化が進む中、地域の人々が互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除してしまったりするなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。このドラマでは、小学2年生の入江桃香を主人公として、一人暮らしで気難しいと疎まれている秀次郎や、クラスメートの堂本志穂・その母恵里との関係を軸に描いています。噂話や見た目だけで判断する先入観の愚かさ、子どもの純粋な心、人と人の助け合いの大切さなどについて改めて感じられる物語です。

